



見つけれたら交代しながら探してもらい、どんどん見つけていく。用意した成虫入れのケースの中ではにぎやかに動き回る成虫。今年も子どもたちに人気のオスが多いようだ。

さあ 持ち帰って家で飼育するカブトムシを順番に
選んでケースに入れていくよ～。



今年度も子どもたちには“子ども夢基金”の助成金で飼育ケース・エサ類をプレゼント。みんな大切に持ち帰ってもらった。



しっかり飼育していくんだよ。
しっかり観察もして、君たちからのカブトムシスケッチも待ってるからね。



今年も家族単位で2匹ずつ持ち帰ってもらうことができた。

観察会後半は、ひよどり研修室に移動し
【小枝クラフトづくり】



サンプル

よ～し、今から小枝でこんな工作をしてみよう。ツノ、アシ、カラダ しっかり観察して上手に小枝を選んでカブトムシやいろんなクラフトを作ってください。



サンプルを参考に
材料選びから



当初は、観察場所でのクラフトづくりを考えていたが、今年の猛暑続きに急ぎよ
屋内の冷房室に移動。涼しいところで実施したのは正解であった。

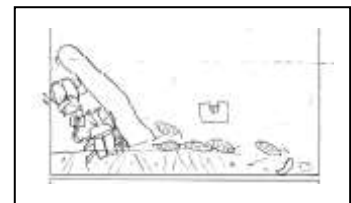




どんなのを作るか構想はできたかな…。小枝の形をうまく選んで足にしたり、頭や胴にするんだよ。



いろいろな形の作品が出来てきた。なかなか豊かな発想しているよ。



できた！



後日子どもたちから届いたカブトムシのスケッチ ありがとう。

次の観察会は 10 月 28 日(日)
今年生まれてくる幼虫の観察と、春・夏の緑の山とは違った秋の里山の自然を体験・観察しながら楽しめます。

この事業は、平成 30 年度子どもゆめ基金の活動助成金で実施しました。